

業 務 状 況 説 明 書

令和 7 年 4 月 1 日～令和 7 年 9 月 3 0 日

八街市水道課

1. 事業の概況

令和 7 年度上半期の給水戸数は、J R 総武本線の北側地区が 8 月末で 8,629 戸、南側地区が 9 月末で 7,363 戸、合計 15,992 戸（給水人口 34,630 人）であり、前年度同期 15,794 戸に比べて 198 戸増加となりました。

また、使用水量は 1,552,100 m³であり、前年度同期 1,543,158 m³に比べて 8,942 m³、0.6 %増加し、水道料金の調定額は、390,560,830 円（うち消費税 35,483,606 円）であり、前年度同期 387,209,370 円（うち消費税 35,179,063 円）に比べて 3,351,460 円、0.9 %の増加となりました。（給水人口：一世帯 2.170 人で算出）

2. 経理の状況

収益的収入及び支出では、水道事業収益は 422,779,548 円で予算現額 1,243,581,000 円に対して 33.9 %の調定率となりますが、1 年間分の長期前受金戻入のうち半年経過分として、予算現額の半額 23,229,000 円を加えると 35.8 %の調定率となりました。その内訳として、給水収益（水道料金）が 390,570,330 円で 50.5 %、給水申込負担金が 29,612,000 円で 65.5 %の調定率となりました。

水道事業費用は、支出負担行為済額 572,604,861 円で、予算現額 1,107,018,000 円に対して 51.7 %の執行率ですが、1 年間分の減価償却費のうち半年経過分として、予算現額の半額 104,573,500 円を加えると 61.1 %の執行率となりました。

資本的収入及び支出では、資本的収入は企業債が 58,700,000 円、固定資産売却代金が 143,000 円となり、予算現額 243,955,000 円に対して 24.1 %の調定率となりました。

資本的支出は、建設改良費 226,186,056 円、企業債償還金 95,398,416 円が支出負担行為済額で、予算現額 476,414,000 円に対して、67.5 %の執行率となりました。

3. 資金収支の状況

収入済額 519,054,641 円、支出済額 701,639,637 円、収支差引 182,584,996 円減となり、前年度及び前月からの繰越金 1,069,612,603 円と合わせると、887,027,607 円が次期に繰り越されることになりました。

4. 令和 6 年度決算の状況

（1）経理の状況

令和 6 年度収益的収支（税抜き）の状況は、水道事業収益 1,148,998,000 円に対し、水道事業費用 998,199,501 円であり、収支差引 150,798,499 円の純利益が生じ、減債積立金の取崩しに伴い発生したその他の未処分利益剰余金変動額 170,000,000 円と合わせ、当年度未処分利益剰余金は、320,798,499 円となりました。

資本的収支（税込み）の状況は、収入総額 193,745,987 円に対して支出総額 486,018,359 円であり、収入額が支出額に対して不足する額 292,272,372 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 26,563,695 円、減債積立金 170,000,000 円、過年度分損益勘定留保資金 37,008,677 円で補填しました。なお、不足する額 58,700,000 円については令和 6 年度同意済企業債の未発行分 58,700,000 円をもって翌年度に措置するものとします。

（2）主な建設改良工事の概況

施設改良工事として、上水道更新工事 3 か所実施しました。

令和 5 年度より榎戸配水場監視制御設備更新工事を実施しており令和 7 年度完了見込です。